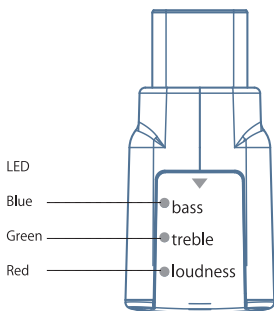




KYDONS

HR-TYPEC-



※本製品はアダプタのみになります。
再生ソフト等が必要な場合は別途ご用意ください。

使用上の注意

- 本製品は記載の注意事項を守り、お客様の責任においてご使用ください。
- 用途以外には使用しないでください。
- コネクタはしっかりと挿しこんでからご利用ください。
- 高温、多湿の場所や車内に長時間放置しないでください。
- 乳児の手の届かない場所に保管し、お子様だけでのご使用はご遠慮ください。
- 本製品の使用による事故、ケガ、損害、パソコン、携帯電話等の故障は一切保証致しません。
- 本製品使用時は音量の上げすぎにご注意ください。
- ケーブルの抜き挿しは必ず本体を持って行ってください。ケーブルを引くと断線する可能性がございます。
- ケーブルを持って振り回したりしないでください。
- 特定の環境下で発生する症状に関してはサポート対象外となります。

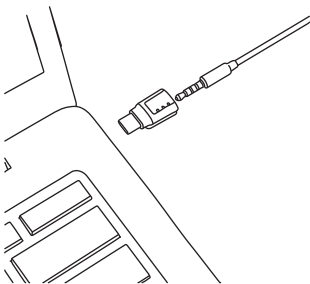
仕様

チップセット	KTO2HO2
入力インターフェース	USB2.0 TypeC
出力インターフェース	3.5mm 4極ヘッドフォンジャック
出力サンプリングレート	最大 32ビット/384KHz
SN比	115dB
THD+N	<0.01% @1mW
周波数帯域	20Hz — 20000Hz±0.5dB
ステレオクロストーク	-56dB @32 Ω
入力サンプリングレート	最大32bit/384KHz(モノラルのみ)
最大出力	32mW @32 Ω
ヘッドフォン駆動能力	16~300 Ω
対応OS	Windows 10/11、MAC OS X 10.13以降
寸法	27mm * 13mm * 10.5mm(長さ*幅*高さ)
重さ	2.5g

※WASAPI (Windows Audio Session API) 対応

使用方法

本製品の接続順として必ず先にイヤホンを接続してください。その後にPCへ接続してください。



※イヤホン接続前に本製品をさして頂いても認識されません。

※USB Hub や変換を介しての接続はサポートしていません。

イコライザーモード切替

本製品には3つのイコライザーモードが搭載されています。

bass (バス): 低音モード

treble (トレブル): 高音モード

loudness (ラウドネス): 小音時に低音と高音をベースアップします。

本体を押すごとに切り替わります。



指で摘むようにして左の○で囲まれた部分を押ししてください。



最初はイコライザー (以後 EQ) は OFF の状態になっています。

1度押すと Blue LED が約5秒点滅します。これは bass に切り替わったことを表示しています。



もう一度押すと Green LED が約5秒点滅します。これは treble に切り替わったことを表示しています。



もう一度押すと Red LED が約5秒点滅します。これは loudness に切り替わったことを表示しています。

もう一度押すと Blue / Green / Red の LED が同時に1度光ります。

これは EQ なしの状態になります。

EQ に関してはこれの繰り返しになります。

F_ 認識しない

A_ イヤホン、ヘッドフォンを接続した状態でお試しく
ださい。

F_ 音が聞こえない

A_ 出力デバイスの切替が出来ているかご確認ください。
また、音がミュート設定になっていないかご確認ください。

F_ ASIO に対応していますか。

A_ 本製品に ASIO ドライバはご用意がございません。

F_ イヤホンマイクに音はいりません。

A_ 2-2 を参照頂き、テストをおこなってください。

テストで問題ない場合はご使用のソフトウェア側の設
定をご確認ください。

F_ USB ハブや形状変換を使用しても使用出来ますか。

A_ サポートしておりません。

F_ LED の点灯回数や色が異なります。

商品仕様の変更がある場合は下記、弊社ホームページで
ご案内となります。

<https://www.area-powers.jp/index.html>

サウンドの設定

Windows での設定

サウンドの問題のトラブルシューティング

⚙️ 音量ミキサーを開く

⚙️ サウンドの設定

②



デスクトップ右下のスピーカー①を右クリックしてください。ポップアップ表示より「サウンドの設定」をクリックしてください。

システム > サウンド

出力

③ サウンドを再生する場所を選択
アプリに独自の設定をしている場合があります ヘッドホン ^

スピーカー
2- Realtek High Definition Audio(SST) >

ヘッドホン
KYO-ONS >

新しい出力デバイスをペアリングする デバイスの追加

ボリューム 100

モノラル オーディオ オフ

左と右のオーディオ チャンネルを 1 つにまとめます

入力

④ 発話または録音用のデバイスを選択
アプリに独自の設定をしている場合があります マイク ^

マイク配列
2- Realtek High Definition Audio(SST) >

マイク
KYO-ONS >

出力内の③より「KYO-ONS」を選択してください。
マイクイヤホンを接続頂いている場合は入力内の④より「KYO-ONS」を選択してください。設定は以上です。

をクリックして頂くと画面が切り替わります。

システム > サウンド > プロパティ



ヘッドホン

KYO-ONS

[名前の変更](#)

プロバイダー Microsoft
ドライバーの日付 2022/05/06
ドライバーのバージョン 10.0.22621.1
[ドライバーの更新プログラムの確認](#)

全般

オーディオ

アプリと Windows がこのデバイスをオーディオ用に使用することを許可する

許可しない

出力の設定

形式

テスト

2 個のチャンネル、32 ビット、48000 Hz (Studio Quality) ▾

ボリューム

100

左チャンネル

100

右チャンネル

100

テストでは左→右の順に音になります。

をクリックして頂くと画面が切り替わります。

システム > サウンド > プロパティ



マイク

KYO-ONS

[名前の変更](#)

プロバイダー Microsoft
ドライバーの日付 2022/05/06
ドライバーのバージョン 10.0.22621.1
[ドライバーの更新プログラムの確認](#)

全般

オーディオ

アプリと Windows がこのデバイスをオーディオ用に使用することを許可する

許可しない

入力設定

形式

1 個のチャンネル、32 ビット、48000 Hz (Studio Quality) ▾

入力音量

100

マイクのテスト

[アストの開始] を選択し、発話するか、少なくとも数秒間通常の音量で音声を再生し、[アストの停止] を選択します。

結果: 合計ボリュームの 1%

[テストの開始](#)

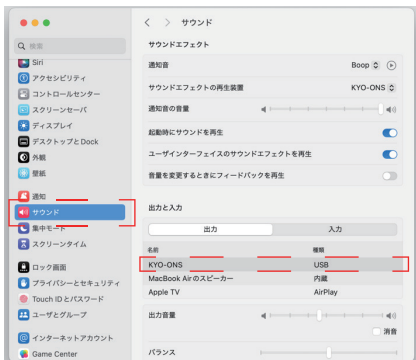
「マイクのテスト」にてマイク入力のテストを行えます。

Mac での設定



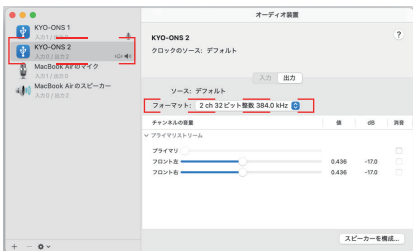
Mac で、アップルメニュー > 「システム設定」と選択し、サイドバーで「サウンド」をクリックします。(下にスクロールする必要がある場合があります。)

「出力」をクリックし、KYO-ONS が選択されていることを確認してください。マイクも使用する場合は同様に「入力」をクリックして頂き「KYO-ONS」が選択されていることを確認してください。



本製品のサンプルレートを設定するには、Audio MIDI 設定アプリを使います。このアプリは、Launchpad 内の「その他」の中にある Audio MIDI 設定を使用します。

KYO-ONS が認識されていると下のように表示されます。入力と出力で分かれていますので出力側を選択してください。真ん中にあるフォーマットの項目から出力したい Hz 数を選択してください。





Skype 内の①設定より項目内の②🔊 音声/ビデオ をクリックしてください。

右の項目が変わり、下へスクロールして③マイクと④スピーカーを切り替えてください。

※マイクなしイヤホンですとスピーカー側のみの表示が本製品になります。